



# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月4日

上場会社名 株式会社 バロー 上場取引所 東名  
 コード番号 9956 URL <http://www.valor.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田代 正美  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 志津 幸彦 (TEL) 0572-20-0804  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

### (1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	326,685	5.3	12,535	10.7	13,300	11.4	6,787	20.9
24年3月期第3四半期	310,248	8.7	11,322	32.6	11,937	32.9	5,614	68.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 6,760百万円 (15.0%) 24年3月期第3四半期 5,879百万円 (76.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	132.49	—
24年3月期第3四半期	110.24	109.58

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	220,147	73,869	33.3
24年3月期	199,774	68,134	33.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 73,303百万円 24年3月期 67,243百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
25年3月期	—	14.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成25年3月期 期末配当につきましては、本日公表の「剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	447,100	8.9	16,400	7.6	17,000	6.1	7,550	5.6	147.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	52,661,699株	24年3月期	52,661,699株
25年3月期3Q	1,172,629株	24年3月期	1,732,169株
25年3月期3Q	51,228,706株	24年3月期3Q	50,930,262株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	3
4. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) セグメント情報等.....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に回復の兆しはあるものの、長期化する欧州債務危機問題や、中国をはじめとした新興国の経済成長の鈍化等による海外経済の減速の影響などから景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、雇用情勢の厳しさによる個人消費の冷え込みや、食の安心・安全への意識の高まり、業態を超えた価格競争等により厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループでは積極出店による事業規模の拡大を図ると共に、より高品質・低価格を目指した独自商品の開発と、従業員教育の充実によるサービスレベルの向上等により、店舗における営業力の強化を進めてまいりました。グループ全体の店舗数は、当第3四半期末現在で566店舗となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は前年同期比5.3%増の3,266億85百万円となりました。また、営業利益は前年同期比10.7%増の125億35百万円に、経常利益は前年同期比11.4%増の133億円に、四半期純利益は前年同期比20.9%増の67億87百万円となり、それぞれ増益を達成いたしました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### <スーパーマーケット(SM)事業>

SM事業の営業収益は2,302億42百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益は83億94百万円(前年同期比8.7%増)となりました。

基幹事業であるSM事業につきましては、引き続き業容拡大と営業力強化の両面に注力いたしました。店舗につきましては、SMバロー16店舗、ユース3店舗を出店したのに加え、5月には韓国子会社により韓国内に2店舗を出店し、当第3四半期末現在のSM店舗数はグループ合計で238店舗となりました。

商品政策では、ご好評をいただいている自主企画商品(PB商品)の開発を一層強化し、より高い価値をより安い価格でご提供するよう努めました。また、11月には岐阜県可児市に、加工食品等の常温管理商品を扱う面積約3万6千㎡の物流センターを開設し、品質及び供給量の安定化とコストダウンへ取り組んでおります。

当第3四半期におけるSMバロー既存店の売上高は、昨年の震災特需からの反動や天候不順による客数の伸び悩み等から、前年同期比で2.6%減少いたしました。前年下期から当第3四半期にかけて開店した店舗の寄与により、事業全体では増収を確保いたしました。

#### <ホームセンター(HC)事業>

HC事業の営業収益は334億87百万円(前年同期比4.8%増)、営業利益は17億88百万円(前年同期比3.8%増)となりました。

同事業につきましては、専門性の強化や品揃えの充実等により、既存店の売上高は前年同期比で2.2%増と増加基調を維持いたしました。また、11月には、愛知県小牧市に「HCバロー小牧岩崎店」を出店し、当第3四半期末現在の店舗数は35店舗となりました。

#### <ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業の営業収益は469億94百万円(前年同期比13.9%増)、営業利益は11億75百万円(前年同期比2.0%増)となりました。

同事業につきましては、19店舗を新たに開店し、当第3四半期末現在の店舗数は212店舗となりました。また、かねてより実験・検証を繰り返してまいりました低価格推進型の店舗モデルを4月より全店で採用したことなどから、既存店の売上高は前年同期比で5.9%増加いたしました。

#### <スポーツクラブ事業>

スポーツクラブ事業の営業収益は65億87百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益は2億92百万円(前年同期比124.4%増)となりました。

同事業につきましては、会員数の増加は目標水準に達しませんでした。運営経費の削減による荒利益率の改善や、販管費の削減努力により、前年同期比で増益を達成いたしました。また、5月には岐阜市内に「アクトswill茜部店」を出店し、当第3四半期末現在の店舗数は52店舗となりました。

#### <流通関連事業>

流通関連事業の営業収益は51億66百万円(前年同期比7.7%増)、営業利益は24億65百万円(前年同期比15.5%増)となりました。

流通事業に関連するその他のグループ企業では、流通事業の規模拡大に的確に対応するためのインフラ整備や、サービスレベルの維持向上を図ってまいりました。

#### <その他の事業>

その他の事業の営業収益は42億6百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は3億11百万円(前年同期比30.

2%増)となりました。

その他の事業につきましては、ペットショップ事業、衣料品等の販売業及び保険代理店等であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ203億72百万円増加し、2,201億47百万円となりました。これは主に現金及び預金58億15百万円、棚卸資産39億56百万円及び有形固定資産106億8百万円の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ146億38百万円増加し、1,462億78百万円となりました。これは主に、社債40億22百万円の減少があったものの、買掛金84億89百万円、短期借入金76億10百万円及び長期借入金20億91百万円の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ57億34百万円増加し、738億69百万円となり、自己資本比率は33.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績につきましては、平成24年5月10日決算発表時の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業総利益が10百万円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ141百万円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,763	18,579
受取手形及び売掛金	5,066	6,253
商品及び製品	21,425	25,309
原材料及び貯蔵品	356	428
その他	8,712	6,514
貸倒引当金	△10	△9
流動資産合計	48,313	57,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	66,554	74,467
土地	34,038	35,601
その他(純額)	11,999	13,132
有形固定資産合計	112,592	123,200
無形固定資産		
のれん	948	664
その他	5,645	5,776
無形固定資産合計	6,593	6,441
投資その他の資産		
差入保証金	22,527	23,762
その他	10,266	10,191
貸倒引当金	△519	△524
投資その他の資産合計	32,275	33,429
固定資産合計	151,461	163,071
資産合計	199,774	220,147

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	28,137	36,626
短期借入金	31,785	39,395
未払法人税等	3,879	1,450
賞与引当金	1,986	752
引当金	647	544
資産除去債務	2	1
その他	17,664	16,458
流動負債合計	84,103	95,229
固定負債		
社債	7,212	7,127
長期借入金	22,674	24,766
退職給付引当金	2,213	2,414
引当金	1,374	1,303
負ののれん	130	93
資産除去債務	3,522	3,828
その他	10,408	11,514
固定負債合計	47,537	51,048
負債合計	131,640	146,278
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,916	11,916
資本剰余金	12,670	12,676
利益剰余金	44,789	50,148
自己株式	△2,216	△1,500
株主資本合計	67,159	73,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60	23
為替換算調整勘定	24	38
その他の包括利益累計額合計	84	62
新株予約権	361	38
少数株主持分	529	526
純資産合計	68,134	73,869
負債純資産合計	199,774	220,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	298,924	315,197
売上原価	228,034	239,122
売上総利益	70,889	76,074
営業収入	11,324	11,488
営業総利益	82,213	87,563
販売費及び一般管理費	70,891	75,027
営業利益	11,322	12,535
営業外収益		
受取利息	132	111
受取配当金	31	28
持分法による投資利益	46	19
受取事務手数料	493	535
受取賃貸料	633	641
負ののれん償却額	40	37
その他	632	852
営業外収益合計	2,008	2,225
営業外費用		
支払利息	453	488
不動産賃貸原価	857	922
その他	83	49
営業外費用合計	1,394	1,461
経常利益	11,937	13,300
特別利益		
固定資産売却益	72	5
債務保証損失引当金戻入額	—	116
補助金収入	40	77
持分法による投資利益	20	30
退職給付制度改定益	127	—
その他	91	18
特別利益合計	352	249
特別損失		
固定資産売却損	90	37
固定資産除却損	115	43
減損損失	447	258
投資有価証券評価損	671	2
その他	116	138
特別損失合計	1,442	480
税金等調整前四半期純利益	10,847	13,068
法人税、住民税及び事業税	4,492	4,536
法人税等調整額	727	1,735
法人税等合計	5,220	6,271
少数株主損益調整前四半期純利益	5,627	6,796
少数株主利益	12	9
四半期純利益	5,614	6,787



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,627	6,796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	251	△33
為替換算調整勘定	1	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	252	△36
四半期包括利益	5,879	6,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,866	6,766
少数株主に係る四半期包括利益	13	△5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,847	13,068
減価償却費	7,025	7,423
のれん償却額	424	311
減損損失	447	258
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△66	5
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△61	200
受取利息及び受取配当金	△163	△139
支払利息	453	488
持分法による投資損益(△は益)	△66	△50
固定資産除却損	115	43
売上債権の増減額(△は増加)	△1,301	△1,175
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,249	△3,947
仕入債務の増減額(△は減少)	8,039	8,478
その他	3,400	1,202
小計	24,845	26,169
利息及び配当金の受取額	61	32
利息の支払額	△336	△408
法人税等の支払額	△7,353	△6,900
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,217	18,893
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△9,882	△14,802
有形固定資産の売却による収入	575	179
無形固定資産の取得による支出	△415	△504
差入保証金の差入による支出	△1,178	△1,941
差入保証金の回収による収入	730	721
預り保証金の受入による収入	94	250
預り保証金の返還による支出	△382	△347
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△27	—
その他	△1,361	△786
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,847	△17,230
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,611	6,456
長期借入れによる収入	10,008	9,300
長期借入金の返済による支出	△13,150	△6,054
社債の発行による収入	6,961	—
社債の償還による支出	△114	△3,685
配当金の支払額	△1,170	△1,392
その他	△412	△478
財務活動によるキャッシュ・フロー	△489	4,146
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,887	5,790
現金及び現金同等物の期首残高	13,547	12,676
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,434	18,467

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	スーパー マーケット 事業	ホームセ ンター事 業	ドラッグ ストア事 業	スポーツ クラブ事 業	流通関連 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	221,591	31,963	41,258	6,441	4,795	306,050	4,198	310,248
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,346	12	7	1	15,056	16,424	290	16,714
計	222,938	31,976	41,265	6,442	19,851	322,474	4,488	326,963
セグメント利益	7,723	1,723	1,152	130	2,134	12,864	239	13,103

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップの営業、衣料品等の販売業、保険代理店及び温泉施設の営業等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	12,864
「その他」の区分の利益	239
セグメント間取引消去	442
全社費用(注)	△2,223
四半期連結損益計算書の営業利益	11,322

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	スーパー マーケット 事業	ホームセ ンター事 業	ドラッグ ストア事 業	スポーツ クラブ事 業	流通関連 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	230,242	33,487	46,994	6,587	5,166	322,479	4,206	326,685
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,656	16	7	1	16,271	17,953	146	18,100
計	231,898	33,504	47,002	6,588	21,438	340,432	4,353	344,786
セグメント利益	8,394	1,788	1,175	292	2,465	14,115	311	14,427

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップの営業、衣料品等の販売業及び保険代理店等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	14,115
「その他」の区分の利益	311
セグメント間取引消去	538
全社費用(注)	△2,429
四半期連結損益計算書の営業利益	12,535

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計方針の変更等」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べ、スーパーマーケット事業で102百万円、ホームセンター事業で10百万円、ドラッグ事業で13百万円、スポーツクラブ事業で2百万円、流通関連事業で12百万円、その他で0百万円、それぞれセグメント利益が増加しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。